



東京学芸大学附属大泉小学校

所在地 : 〒178-0063 東京都練馬区東大泉5丁目22-1 電話番号: 03-5905-0200

探究・体験・協働の学びと豊かな行事！

～ 国際バカロレア (IB) ワールドスクール PYP 認定校～



「国際教育の先進的取組～“我が国初”の小学校」(国立で)

- ・ユネスコスクール (S41～: 当時1初研究協力校)
- ・帰国子女教育学級 (日本語教育) 特設校 (S44年～、現在は国際学級)
- ・国際バカロレア (IB) PYP 認定校 (R4)
PYPの探究プログラム
～教科の枠をこえた探究の学び・概念型学習～
- ・教育課程特例校



校風・特色

- <教育目標>
- 自ら学び、自ら考え、ねばり強く取り組む子ども
 - 支え合い 共に生きる子ども
 - たくましく 清い心の子ども
 - 希望をもち 世界に伸びる子



創立時より、探究的に学ぶこと、体験的に学ぶこと、協働して学ぶこと、世界に目を向けることを大切に、豊かな行事で人格形成の土台を育てる教育に取り組んでいます。また、S41年より、国際教育・帰国児童教育(日本語教育)の研究にも取り組んできました。

附属大泉小学校の校内研究は、長年に渡り、教育課程の開発研究に取り組んできています。「総合学習」や「探究科」などの新しい枠組みでの学びについて教育実践を行い、文部科学省の研究開発学校の指定をこれまでに複数回受けてきていました。現在は、国立大学附属小学校としては全国初の、国際バカロレア (IB) ワールドスクール PYP 認定校として、教科の枠をこえた学びによる概念的な理解を重視し、PYPの探究プログラムと学習指導要領とを両立させた教育課程の開発に取り組んでいて、教育課程特例校です。

特色ある教育活動の取組、先導的取組

① PYP 探究プログラム 国際バカロレア (IB) の PYP 研究

国際バカロレア (IB) の初等教育プログラムである PYP (Primary Years Program) の認定校です。PYP では、UOI (Units of Inquiry : 探究の単位) といわれる学習があり、教科の枠をこえた学びが重視されています。UOI と学習指導要領とが共存する新しい方向性を探る先進的な教育研究に取り組んでいます。



② 豊かな学校行事・宿泊行事

行事を通して学ぶことも大切にしています。

- ・毎年開催する「運動会」「展覧会」「音楽会」「きくまつり」
- ・全校遠足の年2回実施（5月「和楽会」、11月「全校遠足」）
- ・合計13泊18日の宿泊行事（4～6年移動教室、5・6年臨海学校）
- ・遠泳に挑戦、臨海学校（5・6年）40～60分の時間遠泳
- ・夢の紙風船あげ（全校・きくまつり）



③ 体験的学び・労作教育

菊や野菜を育てる活動など、体験的な学びも取り組んでいます。

- ・一人一鉢ずつ育てる菊作り 団で野菜を育てる畑活動
- ・移動教室現地での本物に触れるフリータイム学習（3～6年）
- ・わらじ作りと箱根旧街道ハイク（5年）

自分で作ったわらじを履いて箱根旧街道を歩き、「箱根八里」を合唱。

- ・磯採集（4年） 海の生き物に触れあいます。



④ 特色ある授業

i) **探究学習** 教科の枠をこえた学び

- ・東京韓国学校との交流学习
- ・総合表現「オペレッタ」…世界に一つだけのオリジナル創作 全員が主役！
台本、道具、照明・効果音、オーケストラ、作詞・作曲等を児童が自作・自演

ii) **英語学習**（1年から6年生まで。1～4年は週1時間、5・6年は週2時間）

- ・Input を重視し、自然な Output を促す英語学習



④ 生活団活動（縦割り異学年グループでの活動）

「生活団」と呼んでいる縦割り異学年グループでの活動が盛んです。各行事や毎日の清掃活動はこの生活団で活動しています。

（菊作り・畑の活動・菊の子汁づくり・運動会など）

→生活団は“もうひとつのクラス”として

特別活動の中心的な学びの仲間になっています。



⑤ 国際学級の特設・日本語教育研究

本校は我が国で最初に海外帰国子女の特設学級を設けた小学校で、50年以上の歴史があります。

現在、多くの帰国・外国人児童が在籍しています。日本語教育・適応教育の実践研究を継続して続けています。3～6年生に少人数クラスで特設しています。

- ・個別学習（週6時間「日本語」「漢字」「算数」が教材）、グループコミュニケーション学習
- ・日本語教育の、本校オリジナル教材を作成して実施しています。